



アターイリ、スコイリ

1月11日、安楽島町の^{まるやま}満留山神社で大漁豊作を占う弓立神事が行われ、氏子を務めた濱口富弥さんと濱口武大さんの2人が、3本ずつ3回の計18本の矢を約15m先の的を目標けて放ちました。

江戸時代から続くこの神事は、弓の音で悪疫を退散させ、矢の当たり外れで今年の吉兆を占います。今年は、18本中15本の矢が、見事的を射ぬき「大漁、豊作」と占われました。



高台の高齢者宅へ灯油を届けます

1月9日、神島で市立神島中学校の全校生徒4人が島内の高台にある高齢者宅へ灯油を届けるボランティアを行いました。今年は年間5回予定しており、2回目のこの日は島内の23件から依頼がありました。生徒らは鳥羽磯部漁協の職員が給油したポリタンクを背負ったり、両手に持ちながら強い風が吹く寒い中、何度も階段を上り下りしながら島内をまわり、その額には汗が輝いていました。



新しい園舎を作ってくれてありがとう

1月15日、新しく完成した市立安楽島保育所の竣工式を行いました。

現在の保育所は、海が近く津波で浸水するおそれがあり、また建物の老朽化も進んでいることから、子どもたちの安全を確保し、安心して子育てができるよう海拔38メートルの市立鳥羽東中学校横に移転しました。

竣工式では、4、5歳児39人が感謝の気持ちを込めて「ありがとうの花」を元気よく歌いました。



突然の雨でも大丈夫

12月25日、市温泉振興会は観光客のかたが突然の雨に降られた時に、無料で貸し出しする「恋する雨傘」を設置しました。

設置個所は、市観光案内所・旅館送迎バス待合所・バスセンター・ミキモト真珠島・鳥羽水族館・海島遊民くらぶ・石神さん（海女文化資料館）・マリナーミナルの8か所で各60本設置されています。今後、利用者からの好評を得られれば設置個所を増やしていく予定です。